

事務連絡
令和3年5月11日

各高齢者施設管理者 殿

東京都福祉保健局高齢社会対策部長
山口 真吾

新型コロナウイルス感染症の最近の感染動向を踏まえた対策について

平素より各施設では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底されるとともに、職員の皆様もプライベートを含め、密になりやすい、又は、多くの人が出入りし接触するような場所を避けるなど、感染防止に努めていらっしゃるものと存じます。

一方、今年のゴールデンウィーク期間中も高齢者施設から陽性者の発生報告が都に日々届いており、一部の施設では大規模なクラスターも発生しています。

東京都健康安全研究センターの推計によれば、現在、都における感染者の約7割が N501Y 型という変異株に置き換わっていますが、この変異株は、別紙のとおり、従来よりも感染力が強く、重症化リスクが高いことが明らかになっています。

感染者、重症者の増加により、医療提供体制のひっ迫が危惧されます。80代以上の感染者の大半は施設内での感染であることから、マスクの着用や手指消毒等の標準予防策、職員等の週1回を目安とする集中的・定期的検査に加え、面会の制限（緊急やむを得ない場合を除く）の実施など、一層の感染対策の徹底をお願いいたします。

また、入所者の病院受診や入院先から施設への退院等の際には、都の補助金などにより必要に応じて検査を実施するとともに、十分な健康観察をお願いいたします。

なお、施設における感染症への対応力強化には、業務継続計画（BCP）の策定が重要です。都は6月に「新型コロナウイルス感染症に対応するBCP」をテーマとした特別講座をオンラインで配信する予定です。詳細は今後お知らせしますが、各施設における取組にぜひお役立てください。

(添付資料)

別紙 「変異株について」

東京都福祉保健局高齢社会対策部

- 特養・老健・介護医療院
施設支援課施設運営担当 電話 03-5320-4264
- 有料老人ホーム（特定施設）
施設支援課有料老人ホーム担当 電話 03-5320-4296
- サービス付き高齢者向け住宅（特定施設）
在宅支援課高齢者住宅担当 電話 03-5320-4273
- 介護療養型医療施設
介護保険課介護事業者担当 電話 03-5320-4274

変異株について

N501Y 変異株の脅威

- N501Y 変異株は、人間の細胞表面の受容体に、ウイルスがくっつきやすくなるかどうかを決める主要なタンパク質(スパイクタンパク)を構成するアミノ酸の1つである501番目のアミノ酸が変異し、ウイルスが受容体にくっつきやすくなることで、「感染力が高くなっている」と言われています。
- 海外では、N501Y変異株は、従来株と比べて、実行再生産数は1.43倍から1.9倍であり、死亡リスクは1.55倍上昇すると報告されています。また、国立感染研究所による国内感染例の解析では、実行再生産数は、平均で従来株に比べて1.32倍だったと報告されています。



※海外の報告、国立感染研究所による国内感染例の解析から作成

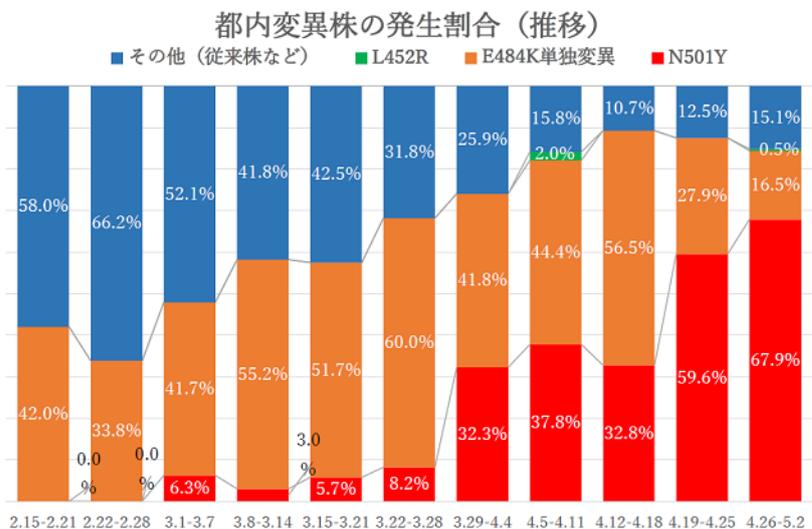
<新型コロナウイルス変異株の比較>

		VOC-202012/01 (英国株)	501Y.V2 (南アフリカ株)	501Y.V3 (ブラジル株)	R.1 系統 (E484K 単独変異)
変異	N 5 0 1 Y	あり	あり	あり	なし
	E 4 8 4 K	なし	あり	あり	あり
感染性		75%上昇※1	50%上昇※3	上昇の可能性※4	不明
病原性		致死率 1.64 倍※2	不明	不明	不明
免疫逃避 (再感染)		なし	あり	あり	あり
ワクチン効果		維持	減弱する 可能性の懸念	減弱する 可能性の懸念	減弱する 可能性の懸念

都内の変異株の発生割合(東京都健康安全研究センターによる調査)

- 新型コロナウイルス変異株の都内での発生動向を把握するため、健安研では、N501Y 変異株だけでなく、E484K 単独変異株の検査も行っています。

- 3月下旬から N501Y 変異株の割合が上昇し約 7 割になっています。



※健安研において実施した変異株スクリーニング結果をもとに推計しています。

※L452Rについては、4月1日分以降について実施。